

全員でつかんだ総合7位

負けじ魂でシード権



瀬上雄然総監督

前回大会同様、コロナ禍で一部制限がある中で開催された箱根駅伝を無事に走り抜くことができました。出陣の心より感謝申し上げます。出陣の激しいレース展開ではありましたが、選手一人ひとりが負けじ魂を奮発し、シード権を確保できました。来年こそは目標を達成します。



嶋津区間賞



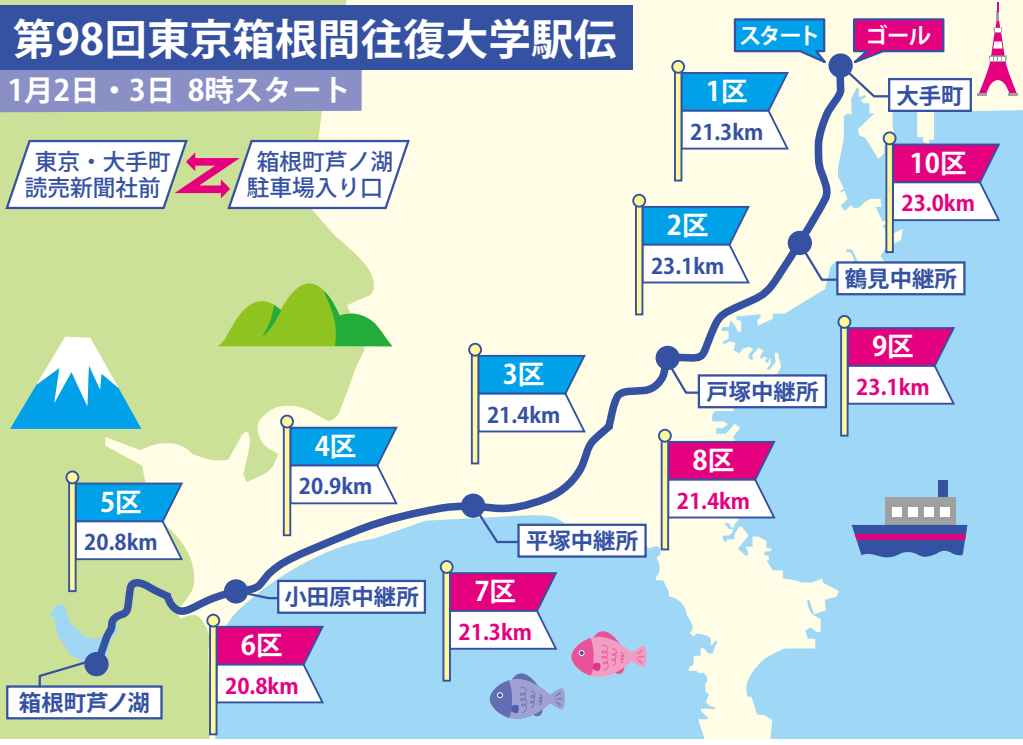
上位争いができる強いチームへ



榎木和貴監督

皆さんの応援をありがとありがとうございました。今年、目標としていた3位には惜しくも届きませんでした。結果を残すことが出来た。往路8位と若干出遅れたところもありましたが、この1年間掲げてきた「強さ」を、

復路戦評
勝負の復路、トップ選手から5分38秒差で6区濱野将基がスタート。昨年の経験を活かして最高速の4メートルから一気に駆け抜け、前を追う。9区宮下下もなかなか前との差は詰まらない。前の選手が見えない単独走となったがペースを守り8位を奪取。前の東国大との差を詰めて7区新家裕太郎に引き継ぐ。走るからには区間賞を狙いたいと言っていた新家、ついに11分過ぎの二宮付近で國學院大、東国大を捕らえて6位に上げ、最後は強烈なスタートで5位まで順位を押し上げた。そして笑顔で吉田凌へ襷を渡す。1年生吉田は7区の勢いそのままに茅ヶ崎6.7分付近で4位帝京大を捕らえて9.5分付近では東国大と並走。15.9分遊行寺坂では中央大、東国大と3校での並走に戸塚中継所に5位で飛び込む。9区は中武泰希、4年生として最初で最後の箱根をスタート。序盤は3校で拮抗していたが7分付近でグループから後退。10分付近では駒澤大に抜かれるも必死に食らいつづきシード権を目指す各校も必死に迫ってくる。まさに戦国駅伝だ。苦しい走りになったが前を向いて走る。9位に順位を下げたが、持ち前の粘りで中継所で待った松田泰汰へ思いを繋ぐ。そしていよいよシードをかけた最終10区、一旦10位に並ばれた松田は落ち着いて対応、そしてキープを入れ直しスピードアップ。中盤で東海大を捕らえてさらに國學院大も抜き去り7位に浮上。そのまま大手町のゴールに飛び込んだ。



往路にゴールする三上雄太選手

往路戦評
「戦国駅伝」と予想通り、順位が目まぐるしく変わる苦しい展開となった。1区を任せられた慶西潤は序盤、集団を見る形で好位置をキープ、中盤は積極的に順位集団を引っ張る形で中央大を追っていく。しかし15分六郷橋手前で一気に上がったペースに対応できず徐々に遅れて15位で2区フリップ・ムルワに託す。秋から調子上げていたムルワはスタートからぐんぐんペースを上げて次々と前を捕らえていく。ハイペースの勢いは後半になっても衰えず9人をこぼす抜き、区間2位の記録で6位に順位を押し上げて3区桑田大輔に襷を渡す。桑田は緊張からスタートからなかなかペースが上がらず藤沢付近で10位まで順位を下げるが懸命の走りにつけて11位。昨年同4区でトップに立った嶋津雄大に託す。嶋津は襷を受けて一気に加速、8分付近8位、11分まで6位まで順位を押し上げる。その後も安定した走りでも8.8分付近では4位に迫る区間賞の快走で主将三上雄太の待つ5区へ。序盤は帝京大、駒澤大と並走していた三上だが徐々に遅れ始めて宮下下では8位に後退、小瀬園前でもペースは上がらずなんとか8位をキープしながら前を追う苦しい展開となった。しかし前との差は詰まらず3つ順位を落とし8位でゴール。往路は15分6.11分5.8分と順位変動が大きく、結果往路8位となった。復路は、総合7位を目指して挑むことになった。

国内外からの声援を力に疾走

頑張った選手たちを褒めてあげたいです。ここからまたと頑張る心を作ってくれたと思います。本意にありがとうございました。今後、選手たちはさらに成長していくと思いますので、これからも変わらぬ応援をまっしぐらお願いします。



【写真提供：駅伝部】

選手の粘り強い走りに感動



田代康則理事長

また、選手を陰で支えた控えの選手、スタッフの皆様も本当にお疲れ様でした。目標の総合3位には残念ながら届きませんでした。3年連続シード権獲得という新たな歴史を築いてくれた。テレビ・ラジオ等で卒業生をはじめ、全国、全世界の応援をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

勇気や感動を届ける走り



三上雄太主将

「ストライプインパクト」とのテーマを掲げ、衝撃を与えられる走り、皆さんに勇気や感動を届けたという思いで走りました。少しでも感じてもらえたら嬉しいです。テレビの前からの皆さんの応援、本当にありがとうございました。今後も創価大学駅伝部をよろしくお願います。

2区ムルワも区間2位の激走



応援ありがとうございました



シード権獲得は見事な結果



馬場善久学長

どうもありがとうございます。戦国駅伝の予想通りに激しく順位が移変わる緊迫のレースの中、選手皆さんの執念の走りに感動しました。また、2日間サポートにあられた駅伝部、関係者の皆様、大変にお疲れ様でした。多くの感動を本当にありがとうございました。全国、全世界で応援していただいた皆様、心より感謝申し上げます。

【選手写真提供：「©KGRR」】